

三月議会報告

平成二十四年第一回我孫子市議会定例会が三月二十三日に閉会しました。平成二十四年度の一般会計当初予算は対前年度比一・八%増の三百四十九億六千万円で、この一般会計に五つの特別会計と水道事業会計を加えた総予算は前年度に比べ二十七億五千三百万円増の六百四十四億四千五百万円となりました。なお、一般会計予算には放射能対策費として五億九千万円が盛り込まれています。

その他、「我孫子市農業振興基金条例の制定」や「暴力団排除条例の制定」など計四十七議案と議員発議五件を審査・可決して閉会しました。



焼却灰一時保管場所問題と我孫子市議会の対応

また、懸案となつてゐる放射能物質を含む焼却灰の一時保管場所として我孫子市と印西市をまたぐ「手賀沼終末処理場」を千葉県が提案している問題では、我孫子市議会は二十三日の最終日に千葉県が提案した場所の白紙撤回を求める決議を全会一致で可決し、県との対立路線を強めることとなりました。

①既に終末処理場は流域七市から流れ込む公共下水により、放射性物質を含む汚泥焼却灰も増え続けており、その量は新たに焼却灰を受け入れることはとうてい内容認できるものではない。②焼却灰の一時保管場所として国から国有地が提示され、これまでの状況が一変したことに加えて、一時保管場所は本来、国や東電が責任を持つべきで、千葉県は各自自治体の国有地などを含めて再考すべきである。③一時保管場所は自区内処理が原則であり、市域を超える遠距離の移動は高濃度の放射性物質の拡散につながる恐れがある。という三点となります。

また、三月に柏市の国有地が一時保管場所の候補になつてゐる事実が明らかになる一方で、県議会では我孫子市や印西市の対応を批判する意見が出てゐることや、環境生活警察常任委員会の県議七名が終末処理場を現

地視察した際、一部の県議から「地元市議会が話し合いに応じないのなら、強行的に焼却灰を置いてほしい」などの暴言も飛び出したこと、市議会が態度を硬化した経緯があります。昨年十二月に我孫子市議会として受け入れ拒否を決議した後、国によつて柏市の国有地を一時保管場所の候補とする動きがみられる中で、千葉県が依然として手賀沼流域終末処理場に頑なにこだわつてゐることが問題をこじらせてゐる要因と私は考えています。いづれにしても、一時保管場所は必要です。各市で行う中で、国や東電の動きを探りながら、新たな保管場所の確保に努めていくべきと思つています。

※議員発議五件の内容
①放射性物質を含む土壌及び焼却灰等の処分は国の責任において対応することを求める意見書
②議会改革特別委員会の設置を委員長に就任
③我孫子市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定
④UR賃貸住宅を公共住宅として存続させることを求める意見書
⑤千葉県提案の高濃度焼却灰等の一時保管場所について白紙撤回を求める決議

印南代表質問

印南 宏 三月議会 (代表質問の骨子)

私は、私の属する党派「あひこ未来」を代表して以下に関する質問と提言を行いました。(詳細は議会だより、HP等をご覧下さい。)

- ◆ 人口減少と今後のまちづくり
- ◆ 第一次放射線物質除染計画
- ◆ 第二次放射線物質除染計画
- ◆ 布佐東部地区復興事業計画
- ◆ 大規模災害時支援協定
- ◆ 地域防災計画
- ◆ 防災対策基本条例
- ◆ 災害時の危機管理に役立つ被災者支援システムの導入
- ◆ 手賀沼の放射性物質
- ◆ 公契約条例制定
- ◆ 第五期介護保険事業計画
- ◆ 地域密着型介護老人福祉施設
- ◆ 認知症対応型共同生活介護
- ◆ 介護予防認知症対応型共同生活介護施設
- ◆ 高齢者なんでも相談室の充実
- ◆ とケアマネージャーの強化およびケアマネージャーの相談窓口である主任ケアマネージャーの育成
- ◆ ヤーの育成
- ◆ 閉じこもり・うつ・認知症予防改善
- ◆ 学区の選択制
- ◆ 生徒数の推移
- ◆ 魅力ある学校づくり(学校の選択制と学校の特色づくり)

◆質問の一部抜粋◆
 宏：平成二十三年十月に策定した第一次の放射性物質除染計画を進めてきて、どのような反省点があったのか。
 市長：地域の方々との連携が十分だった。放射線量の低減には市民の協力が不可欠。この考えは第二次除染計画の推進でも基本的な方針にしたい。
 宏：第二次除染計画では、子供たちの生活空間をより敏速に除染するために、民間活用も含めて、どのような除染方法を考えているのか。
 市長：表土の除染等は建設機械を用いて迅速に行うが、落葉の除去、除草などは、より多くの市民の皆さんの協力を得ながら行いたい。早期の線量低減化を目指したい。
 宏：公契約条例の制定について、平成二十二年三月議会で大変前向きな答弁をもらった。現在まで、具体的な進展が見られないことが残念である。積極的な取り組みを望んでいるが、具体的な検討状況は。
 総務部長：建設業者等へのアンケート調査、事務担当者の意見交換などを通じて検討を重ね、多くの課題を把握した。今後は、さらに議論を深めるための場を設けるなどして条例制定の考え方を整理したい。
 宏：地域包括ケアシステムの構築のため、地域密着型介護老人福祉施設こそ重点施策とすべきだが、当該事業を断念に至る精度・検証は。利用者・事業者両

方の視点から具体的に答弁を。健康福祉部長：運営する事業者の問題としては、規模が小さいと入所者の入院による一時的な利用料の減収など経営面の影響が大きいことがある。利用者にとっては個室の移住費、入所費用が割高になるという面がある。宏：学区の選択制と学校の特徴を見解は。
 教育長：学区の選択制の導入される根拠小学校では、大規模校の特性を活かして学校支援地域本部事業を充実させ、多くのボランティアの協力を得て学校づくりを行っている。
我孫子未来会議のあひびこ
 我孫子市議会の会派（グループ）「あひびこ未来」（印南 宏代表、早川真、坂巻宗男、飯塚まこと）では、市内の近隣センターや集会施設を回り、市民の皆さんとの意見交換を重ねていきます。今後、我孫子を一周しながら地域の課題や我孫子の街づくりについて皆さんの生の声をお聞きして議会で議決や政策づくりの反映させてまいります。是非私達に、そして市議会に、皆さんの声をお寄せ下さい。ともに我孫子の未来を創っていきましょう！（※四月八日に実施しました、我孫子市民プラザ、新木行政サービスセンター会議室でのあひびこ未来会議にご参加ありがとうございました。次回の日時、場所等はチラシ、ブログ等でお知らせいたします。）

新年度のチェックス
 高齢者何でも相談室：地域の高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続して行くことができるように介護、福祉、健康、医療などに介護、福祉、健康、医療など、様々な面から総合的に支えるための相談・支援を行っています。新年度の四月から、我孫子地区（☎七一九七三六〇）、天王台地区（☎七一九二四一〇〇）、湖北・湖北台地区（☎七一九七六七七）にオープンしました。利用できる日は毎週月～金曜日、午前八時半～午後五時です。移動交番スタート：我孫子警察署では四月から移動交番車による活動を開始しました。男性・女性警察官のほか、相談員一名の三名体制で市内を巡回しています。今月は布佐地区復興対策室や我孫子ふれあい広場、台田池尻公園など七カ所で活動します。今後、市内の事件、事故多発地区や交番の新設が要望され、となっている地域を巡回して行く予定となっています。九人乗りの車体は海をイメージした青に菜の花の黄色で千葉県をアピール。拠点設置の為に机、テントを整備しています。【我孫子警察署 ☎七一九二〇一〇〇】



宏からのご案内：連合の『なんでも労働相談』
 毎月第三木曜日（原則）、柏でご相談ができます！

東葛地域協議会
 〒277-0022 柏市原町7-11 第一中野ビル2F
 TEL: 04-7157-2541 FAX: 04-7157-2547

労働組合の『連合』では、皆さんのお悩みにお答えしています。連合の柏の事務所でも、毎月第三木曜日（原則）に、『なんでも労働相談』を実施しています。場所は、柏駅（東口）徒歩10分。無料です。専門のアドバイザーが相談に応じています。お気軽にご相談ください。

平日毎日（月～金）
 お電話にても！

0120-154-052 (全国共通)

コンビニ納付スタート：これまで金融機関や市の窓口で納付していた市税や各種料金が四月からはコンビニで支払えるようになりました。（手数料はかかりません。（利用できるコンビニは納付書の裏面を参照下さい））
 納付できる市税・料金は市・県民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料など普通徴収分です。問い合わせ先【市役所 ☎七一九五十一一 一収税課】



平和台雑感

二〇一〇年における日本人の平均寿命は女性で八三・三九歳、男性で七九・六四歳であった。介助・介護を必要とするさまざまな事象の発生も考えられると、体が不自由なく活動できるのは七十五歳くらいと考えるのが妥当だろうが、データを示す平均年齢からは、まさに人生八十歳の時代を迎えている。しかし、一口に人生八十年といっても、それぞれの人や年代で感じ方も、いも出てくる。私の年齢は五十年代後半。あと二十年から三十年近くも人生が残されていると思ふのか、あと三十年しか残されていないと思うのかによって随分と生き方や行動は違ってくる。常々、私は五十年代とは人生の折り返し点だと思つてきた。人生の後半戦にならざるを得ない。それを問うながら生きてきたか。それがまた案の定、なかなか考えることが、自分の前の事象に対して、「できるか、できないか」を考へるのではなく、「好きか、嫌いか」、「ワクワクするか、ドキドキするか」という感情を第一に考へ、今日まで行動してきたかという考へ、それが変わらなければ、昨年、父が他界した後も、親戚・知人・友人でも不幸が重なつていないが、たつた一度

の人生！悲しいことや辛いこと、もそれも含めて人生だとしつかりと受け止めて、これからの人生を歩んでいきたい。◆「手賀沼花火大会、今年も中止へ」。四月二十八日の新聞各紙が報じた。昨年度、中止にする際、二十四年度は必ず実施すると宣言した手賀沼花火大会。二十七日開催した柏市と我孫子市、そして両市の商工団体が組織する実行委員会。の席上、柏市が「放射線対策を最優先する経費を確保したい」という理由で中止を提案したためである。我孫子市は単独でも実施したい考えだが、大会規模を縮小しても警備費用などは変わらなないため、単独実施は不可能に近い。しかし、中止を早々に宣言することは私たちも寝耳に水であった。四十万人以上の上の見物客でにぎわう夏の風物詩。復興を誓う合うためにも盛大に花火を打ち上げたい。今後、開催する道を模索したいと考えている。◆「ゴールデンウィークの半ば、千葉NTシネマックスで井上靖の自伝的小説を映画化した「わが母の記」を観た。主人公である小説家の伊上洗作は幼い頃、母に捨てられたという《記憶》から母にたいして複雑な心境を抱いていた。そんな中で、認知症がひどくなる一方の母、八重の面倒を、家族と二人の妹とみることにする。映画では徐々に見守る子供たち、その重なる記憶を失つていく自分対する洗作を描いていく。八重の自伝的小説を映画化した「わが母の記」を観た。主人公である小説家の伊上洗作は幼い頃、母に捨てられたという《記憶》から母にたいして複雑な心境を抱いていた。そんな中で、認知症がひどくなる一方の母、八重の面倒を、家族と二人の妹とみることにする。映画では徐々に見守る子供たち、その重なる記憶を失つていく自分対する洗作を描いていく。

る。家族の絆の大切さを再認識する時代に、改めて家族とは何かを考へる映画であった。ただ、古き良き昭和という時代背景は良いとしても、設定が上流の家庭であり、一般の庶民感覚、生活感からは理解しがたいところもあつた。しかし、年寄りへの温かく見守つていく家族に共感し、私は自身も《わが母》の姿を映画の八重に重ね、自分が感じるどころで笑い、二度ほど涙した。八重を演じる樹木希林の演技を通じて、母親とは、親とは、こういうものなのかという人間の記憶の生々しさを、鮮明に伝えた昭和の良き家族物語語だつた。◆私の好きなテレビ番組に「吉田類の酒場放浪記」(BS-TBSの毎週月曜午後九時放映)がある。主人公の吉田類氏が毎週、いろいろな街を歩き、紹介しながら、夕刻には必ず居酒屋に入る。お客との台本なしの会話が醍醐味である。私は紹介されるマスターの人の柄や店のお通し、看板メニューの紹介などが毎回楽しみである。自分自身がお店に行つた気分にならせてくれる。それと、なんと、いって吉田類氏が飲み過ぎて、赤ら顔に変わつていく真の「飲兵衛」姿に共感している。二〇〇三年の開業以来、五百軒以上の居酒屋を紹介してきた。このたびは「浪記」(BS-TBSのお土曜午後十一時三十分)が始まる。

いったようだ。まだ、見てはいる。酒屋の良さを紹介して、酒しみにしてはいる。ただ、気がなることは、常連客に迷ふ。その店の大切な心から折居酒屋を、家族や家庭に、私に、吉田類氏の大仕事にしたい。酒場詩人になれぬか？)

印南 宏後援会
〒270-1198 我孫子市日の出 1131
(日本電気労働組合我孫子支部内)
Tel 7184-2860
印南 宏 自宅
布佐平和台 7-1-18
Tel 7189-1598
e-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp
HP http://www7b.biglobe.ne.jp/~innami-hiroshi/
ブク http://hiroshi4649.at.webry.info/

